

取組み概要 ・ Overview of the initiative ・

- 開業時より館内照明のLED化を実施
- 沢水のろ過装置を2機設置し、シャワー・加水・水風呂の水道水の使用を大幅に節水
- フローした温泉を駐車場に流し融雪することで、燃料の削減・排ガス等（除雪機）を削減
- 2022年1月1日「プラスチックアメニティ製品」廃止、自然素材・バイオマスプロダクトに切替
- 生ごみ処理機の導入により食品残差削減を実施

館内照明のLED化 Switching to LED lighting in the building

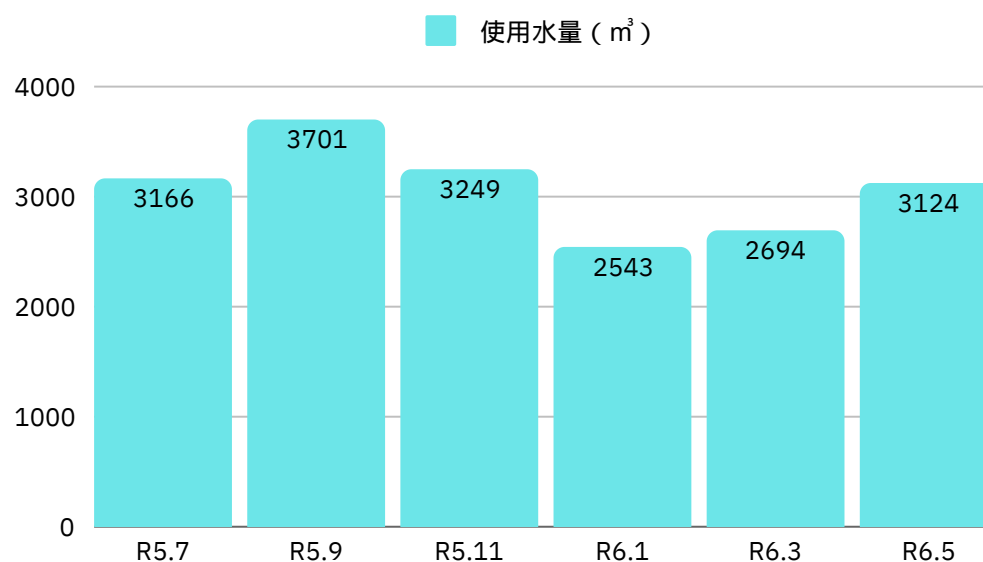


事務所や店内及び店舗外における照明機器の90%をLED化し消費電力の消費削減。外部照明においてはタイマーによる時間の制御にて消灯時間を管理。

ろ過装置による節水 Saving water with filtration equipment



沢水をろ過し、シャワー・水風呂・一部加水に利用することで、年間「18,477m³」の水道水の使用を節水しております。
25mプール約30杯分の量に相当いたします。



温泉排湯による融雪 Snow melting due to hot spring discharge





源泉かけ流しの湯槽から常にフローするお湯、及び源泉のタンクからフローしたお湯を駐車場や入口の坂道に流すことにより、除雪機などを使用することなく融雪が可能です。除雪機の稼働に必要な燃料の削減や排気ガス(CO₂)の削減が可能です。

プラスチックアメニティ廃止 No plastic amenities



御とめ湯りでは、これまで「竹製アメニティ」の導入と「バイオマスパッケージされた製品」の使用により館内プラスチック製品を廃止・削減し、環境への配慮と社会的責任を果たすための持続可能な取り組みを続けてまいりましたが、この度、カミソリ、歯ブラシ、ヘアブラシ、シャワーキャップの商品をとうもろこし由来（コーンスターチ）のバイオマス製品へ切り替え致しました。

現在取り扱う製品は他同様製品に比べ含有率が高く、可能な限り自然素材に近いサステナブルな製品である事。また、100%自然素材の竹製品については、カビの発生が懸念されるなど、その取り扱いの難しさが課題でした。合わせて同様の理由から竹製品は「使い切り」での使用が推奨されております。今回のバイオマス製品は「繰り返し利用が可能」な事と、利用終了後についても「プラスチックごみ」ではなく自然素材同「可燃ごみ」としての処分が可能となります。焼却時に二酸化炭素（CO₂）が発生いたしますが、これは植物が成長中に吸収したCO₂の再放出であり大気中のCO₂は増加しないので「温室効果ガス」とは見ない事。さらに植物由来で再生が可能なので石油資源のように枯渇することがないこと。

これらの理由から、これまで以上に持続可能な「地域温暖化防止の対策」となり自然と共存する国立公園の温浴施設として豊かな自然を守る取り組みを続けてまいります。

生ごみ処理機による食品残渣リサイクル

Recycling food residue with food waste processors



生ごみ処理機
Food waste processor



生ごみ投入時
When putting in food waste



生ごみ投入後24時間
24 hours after food waste is put in

調理過程で出る食品の端材や食べ残しなどの食品残渣を、バイオ材を用いた生ごみ処理機にて堆肥へとリサイクルしてくれる処理機を導入し活用しております。約24時間ほどでほぼ形が判別しにくくなるまでになります。

処理能力としては1日約500g～1kg程度。

今後はこの処理済みの堆肥を仕入れ農家さんに還元することでリサイクルループの実施を実現していきたいと考えております。